

# 『大規模校と小さな園との豊かな学び』

3年目の取り組み



幼保小連携推進地区事業箕輪地区活動報告

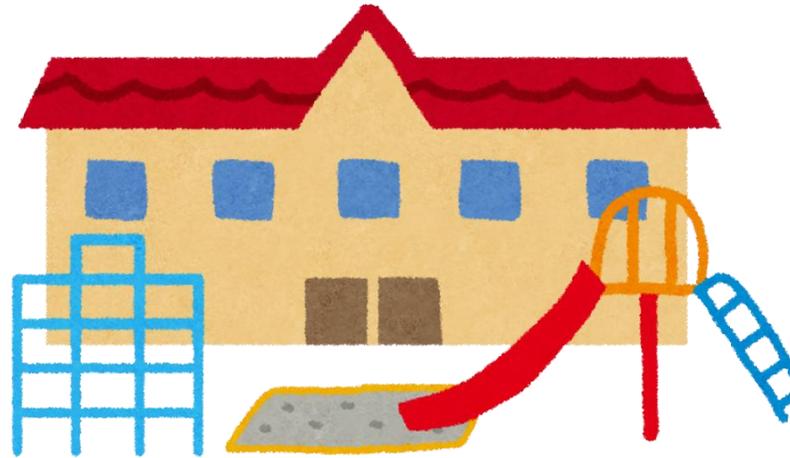
アスク日吉東  
保育園

グローバルキッズ  
綱島園

テnderラビング  
保育園綱島東

小学館アカデミー  
ひよし保育園

キッズパートナー  
綱島東



木下の保育園  
綱島東

箕輪小学校

にじいろ保育園  
日吉

# 箕輪小学校

令和2年開校、創立6年目

	令和7年度	令和8年度	令和12年度
児童数	1,250人	1,320人	約1,500人
学級数 一般級+個別支援学級	$37+8=45$	$38+10=48$	$46+?=60?$

令和九年三月完成  
校舎増築工事



運動場が半分に

## 推進テーマ設定の理由

過大規模校である箕輪小学校の周辺には、未就学児がたくさんいる。本校にとっては、これから入学してくる子どもたちのことを深く理解していくことが大変重要になるので、特別なことはできないが本事業を通して幼保小の連携を密にしていきたいと考えている。

## 推進内容

- ・小学生と園児と一緒に活動する機会を通して、お互いに成長することへの期待や喜びを共有できる交流を目指す。
- ・ **小さな一歩**を大切にしながら**持続可能な交流**を考える。

## 今年度の重点課題

- ・職員同士の理解を深める機会を大切にするとともに、1年生だけでなく**他学年との交流**を増やしていく。
- ・取り組み3年目なので、地域、保護者、コーディネータ等への周知と理解を深めるとともに協力を仰いでいく。

## 連携推進事業（活動）の実際

5月 1日	園長校長顔合わせ 今年度の事業方針確認
5月13日	まちとともに歩む学校づくり懇話会
夏季休業中	小学校の初任者の保育園体験 4名2園
9月22日	6年生との交流
11月26日	大人と子供のための読み聞かせの会 顔合わせの会
12月10日	1年生「あきまつり」で交流
2月	学校の紹介、「小学校で1年生体験（仮称）」
2月13日	園長校長振り返りの会 来年度に向けて

## まちとともに歩む学校づくり懇話会



保育園の園長、保護者代表、地域の方々が集まって、懇話会を開きました。

幼保小連携推進事業について今年も説明し、応援していただけるようお願いしました。

## 小学校初任者の保育園体験（in アスク日吉東保育園）



## 小学校新任者の保育園体験

( アスク日吉東保育園、 テンダーラビング保育園綱島東 )

ふだんなかなか見ることのない園児さんたちの様子をじっくり見ることができた。

たくさん子どもたちがいる中で、先生方は様々な細かい配慮をされていた。

遊びの中で社会性を学ぶ姿をみて、自由遊びの重要性を再確認した。園児の小さな成長に寄り添う保育の姿勢から、学びの土台づくりの大切さを学んだ。



保育園と小学校のギャップを減らすような活動が見られた。1年生の生活につながる活動がたくさんあることがわかった。

- お店やさんごっこ
- いすに座って、机で活動する。
- 食後に食器を丁寧に重ねる。

平仮名を書く、漢字を読む、足し算ができる、、、ということよりも、食事の作法、使った道具やおもちゃを片付ける、お友達に「ありがとう」「ごめんね」が言えるなどがとても大切だと感じた。

# 6年生との交流



## 6年生との交流 振り返り

担当した子が何を言っても「ヤダ！」っていうから、どうしようかと思ったけど、最後には笑顔でバイバイしてくれました！

保育園の先生たちは、そういう時にも笑顔で「何したい？」と聞いていた。さすがプロって感じがした！

小さい子と関わることは思った以上に難しくて、プロはすごいなと思った。

仮面ライダーごっこに参加してくれる子もたくさんいて準備した甲斐がありました。

保育園の子たちと、たくさん関わってすごく楽しかった。

最初は僕たちのことを怖がって、僕たちから話しかけても対話してくれない状況だったけど、仮面ライダーごっこを通して心が通じ合うようになって、お互いに自己紹介できるようになって嬉しく思った。

遊びに来てくれた子たちが走って転んでしまわないかが心配でした。教室に向かう際の上りの階段、ホールに向かう下りの階段、少し時間がかかると思って歩幅をせまくしたりゆっくり歩いたりしていたけど、想像よりもずっと速くておいてかれそうになった。

先生たちが、手をつなくときに「おてて」と優しく言ったり、移動のときには「お引越すよ」とか、園児がワクワクする工夫をされていて、言葉の一つひとつが丁寧ですごいと思った。つまり、園児が楽しく過ごすためには工夫をしたり、寄り添ったりすることが必要だ。

初対面なのに保育園の子が積極的に話しかけてくれて嬉しかったです。そして、場の雰囲気明るくしてくれたのも保育園の子でした。

電車ごっこなどをして、時間があっという間に過ぎて、別れるときはとても悲しかったです。

プリキュアの悪役で、倒れることしかできなかったけど、保育園の子が楽しんでくれたのでうれしかったです。

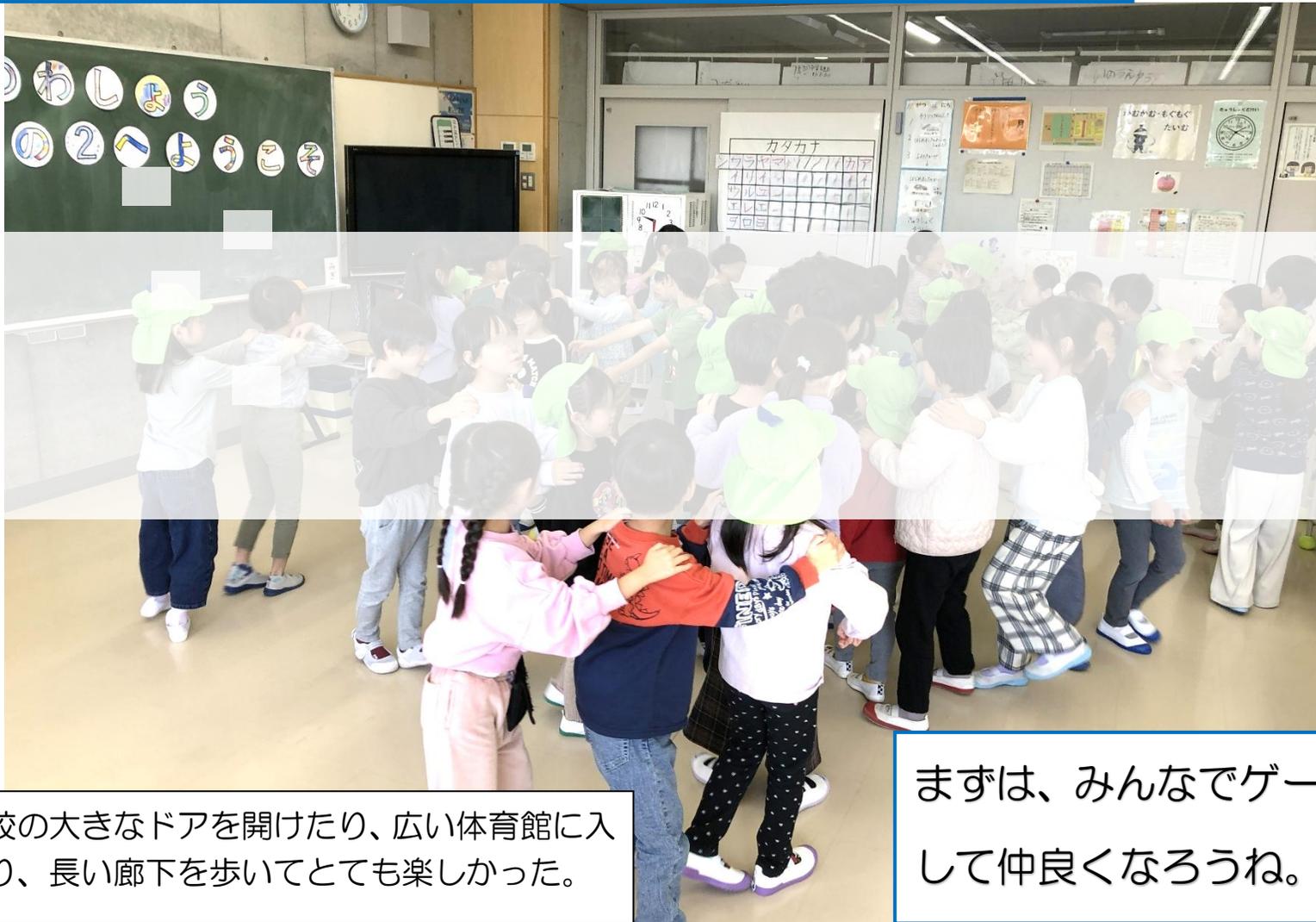
## 大人と子どものための読み聞かせの会 11月26日



今年も俳優の中井貴恵さんによる絵本『おかあちゃんがつくったる』の読み聞かせの会を開催しました。

終了後には、クラスに分かれて「顔合わせの会」を実施して、仲良くなりました。

## 顔合わせの会 「あきまつり」に向けて



小学校の大きなドアを開けたり、広い体育館に入ったり、長い廊下を歩いてとても楽しかった。

まずは、みんなでゲームをして仲良くなろうね。

# 顔合わせの会 「あきまつり」に向けて



ゲームのお店がたくさんあるよ  
ぜひ遊びに来てね



しょうたいじょうを もらったよ  
たのしみだな



秋祭り

12月10日



秋祭り

12月10日



## 秋祭り 振り返り

12月10日

- 作った作品を持ち帰ることができたことが嬉しかったようです。
- 園に帰ってくるなり「これ作ったよ！！もらったんだ！！見て！」と何人も見せに来てくれたあと、大事そうにそれぞれのリュックにしまっていました。
- 帰り道で、コーナーの話や製作物の話に花が咲きました。
- 1年生の対応も丁寧で1年前の姿からは想像できないくらい成長を感じました。
- 小学校で「こんな楽しいことするんだ」という良いイメージを持てる良い機会になりました。
- 全部は回り切れないくらい工夫を凝らしたたくさんのゲームがあり、どのクラスも先生方と子どもたちの熱意が伝わって来るようでした。
- 集めるのにどれだけの労力を費やしたであろうかと思われる何千個ものどんぐりは圧巻でした。小学生が声を掛けてくれて、どれも「楽しかった！」と大喜びで帰ってきました。
- また、在籍をしている時には、コミュニケーションが控えめだった当園の卒園児が年長児の案内を率先して買って出てくれたりと、今回連携をさせていただいたことで、それぞれの子どもの成長を間近で見ることができ、職員も感慨深いものがありました。
- 今回、実際に小学校生活の一部を体験させていただき、子どもたちが就学への期待を膨らませ、小学校は楽しいところだと感じ、不安というハードルを少し低くできたのではないかと思います。
- 今年度で連携推進地区事業は終わりますが、今後もこの繋がりを続けていけるよう強くお願いいたします。

## R7年度 幼保小連携推進地区事業を振り返って

### 成果

- 園児の皆さんが小学校の廊下を歩いているだけで、校内の雰囲気がガラリと変わる。大人も子どもも自然と笑顔になった。
- 1年生だけでなく**他の学年との交流**も行われ、小学校にとって子どもたちの**学習の幅が広がり**素晴らしい学びにつながった。学習活動への強い動機づけになった。
- 近隣の複数の保育園と交流することで、それぞれの違いが理解できた。保育園同士の情報交換の場にもなった。
- **卒園児の成長や頑張り**を園の先生方に見ていただけでよかった。
- 幼保小交流活動では、**学校地域 コーディネーターの方々のサポート**をお願いすることができた。
- **顔の見える関係**ができ、互いの**協力関係が構築**されつつある。

### 課題

- 秋に、一つの園から交流の申し込みがあった。入学してくる園が多いため、今後**交流園が多くなった場合、その交流の持ち方**など工夫が必要である。
- 3か年の幼保小連携事業により、互いを理解し様々な交流活動を進めてきた。園からは、特別な活動もよいが、**小学校のふだんの活動を見ること**がもっとできるとよいという意見があった。
- 今後も職員相互の理解を進めていくには、焦らず無理せず、**持続可能な交流の在り方**を模索しつつ、どのような形で**あれ継続すること**が必要である。